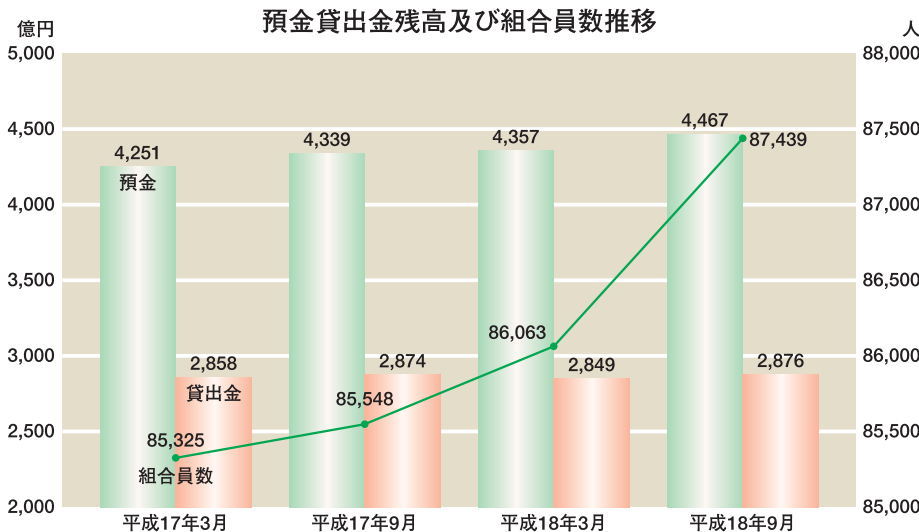




# 平成18年9月期の業績

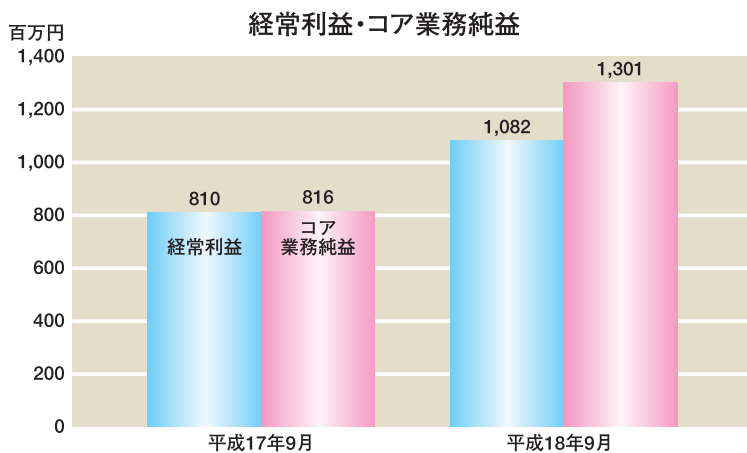
## 預金・貸出金、組合員数とも順調に増加しました



業容は順調に伸展し、預金残高は前年同期比2.9%(128億円)増加し、4,467億円となりました。一方、貸出金は中小零細企業の資金需要が依然として低迷している環境下、これまでの地域金融機関としての独自性と機能発揮に特化した事業資金の積極推進に努めた結果、部分償却(56億円)をカバーしてなお、前年同期を若干上回る2,876億円となりました。また、組合員数は前年同期比1,891名増加し、個人・法人総数で87,439名となり、普通出資金は前年同期比354百万円増加し7,459百万円となりました。

(注) 貸出金は平成18年3月期から部分償却を実施しており、償却後の残高となっております。

## 経常利益は前年同期比33.5%増加し、10億82百万円を確保しました



収益は、前期に引き続き本業であります預貸金業務に特化した積極的的事业展開と経費削減を中心とする経営の効率化に取り組みました結果、業務純益は前年同期比19百万円減少いたしました。経常利益は前年同期比33.5%(272百万円)増加し10億82百万円となり、当期純利益は前年同期比55.7%(321百万円)増加の9億円と大幅増益となりました。



## 不良債権比率は3.96%に改善され、資産の健全化が一層図れました

(単位:百万円,%)

区分	金融再生法で定められた債権の状況				平成18年9月末			
	平成18年3月末				債権額	保全額	保全率	構成比
	債権額	保全額	保全率	構成比				
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,265	4,265	100.00	1.5	3,532	3,532	100.00	1.2
危険債権	8,296	6,191	74.62	2.9	7,400	5,444	73.56	2.5
要管理債権	567	327	57.67	0.2	582	374	64.26	0.2
(小計)	13,129	10,784	82.13	4.6	11,515	9,352	81.21	4.0
正常債権	274,881			95.4	279,007			96.0
合計(総与信)	288,010			100.0	290,523			100.0

### 不良債権比率は前期末(18年3月4.55%)比0.59%改善されました。

なお、部分償却は平成18年3月期より実施しており、その額は平成18年3月期5,553百万円、平成18年9月期5,612百万円であります。

(注)1.単位未満を切捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中合計額とは一致しないことがあります。2.総与信とは貸出金と貸出金以外の債権(貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金および債務保証見返)を含んだ合計額です。

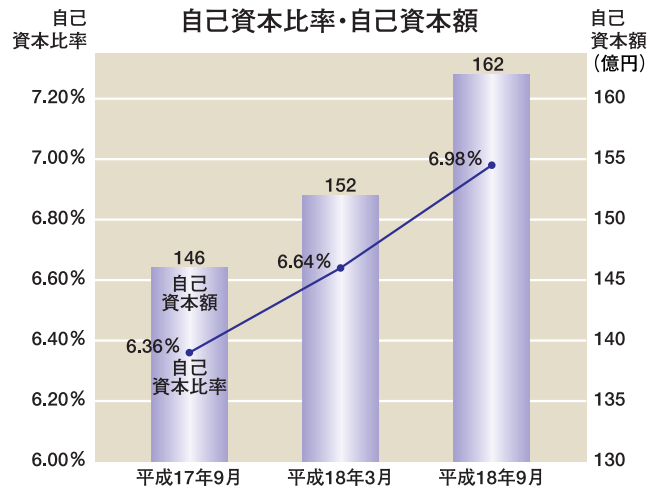
## 自己資本額も順調に増加、自己資本比率6.98%に向上しました

(単位:百万円)

自己資本比率			
項目	平成17年9月末	平成18年3月末	平成18年9月末
自己資本比率	6.36%	6.64%	<b>6.98%</b>
自己資本額	14,643	15,248	<b>16,270</b>
基本的項目	12,614	13,237	<b>14,231</b>
補完的項目	2,029	2,011	<b>2,038</b>
控除項目	—	—	—
リスク・アセット	230,210	229,432	<b>232,882</b>

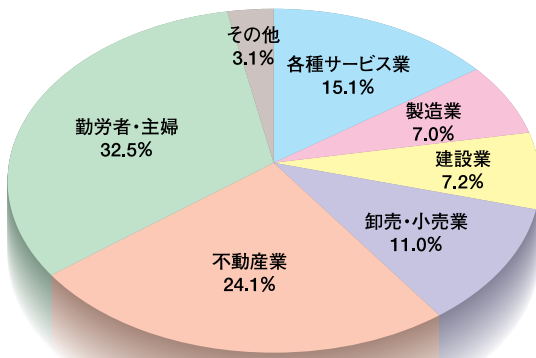
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}(16,270)}{\text{リスク・アセット}(232,882)} \times 100 = 6.98\%$$

※リスク・アセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスクウェイト(信用リスクの度合い)を乗じて得た額の合計額です。



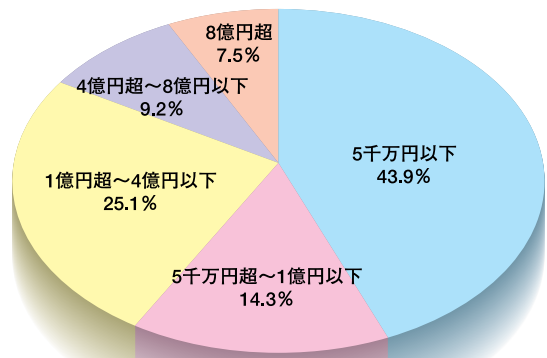
## 貸出は小口多数で各業種に分散されリスクに強い取引基盤を確立しています

貸出金業種別残高構成比



大信の貸出先は、特定の業種に偏ることなく、地元の中小企業や生活者の皆様に広く分散されております。大信は、地元でお預りした預金は地元へ還元することを基本姿勢として、地元の皆様の資金ニーズに積極的にお応えすることで地域の振興発展のためにお役に立つことを基本的な使命としております。

貸出金の金額段階別残高構成比



大信の貸出金は1億円以下が58.2%(うち5千万円以下が43.9%)と小口の貸出が過半を占めており、リスク分散をはかりながら堅固な取引基盤を確立しております。特定先への貸出金の集中や法令違反となるような大口貸出は一切ありません。

## 安全性重視の有価証券運用で評価益を安定確保しています

(単位:千円)

有価証券の取得原価、時価、貸借対照表価額及び評価損益		取得原価	時 価	貸借対照表価額	評価損益	
有 価 証 券	売買目的有価証券	平成17年9月末	—	—	—	
		平成18年3月末	—	—	—	
		<b>平成18年9月末</b>	—	—	—	
	満期保有目的の債券	平成17年9月末	15,708,566	15,684,698	15,708,566	▲23,868
		平成18年3月末	41,169,462	40,836,322	41,169,462	▲333,139
		<b>平成18年9月末</b>	<b>43,166,755</b>	<b>42,933,523</b>	<b>43,166,755</b>	<b>▲233,231</b>
	その他有価証券	平成17年9月末	18,871,217	19,472,324	19,472,324	601,107
		平成18年3月末	2,907,788	4,212,506	4,212,506	1,304,718
		<b>平成18年9月末</b>	<b>2,822,758</b>	<b>3,827,288</b>	<b>3,827,288</b>	<b>1,004,529</b>
	計	平成17年9月末	34,579,784	35,157,023	35,180,891	577,238
		平成18年3月末	44,077,250	45,048,828	45,381,968	971,578
		<b>平成18年9月末</b>	<b>45,989,514</b>	<b>46,760,812</b>	<b>46,994,044</b>	<b>771,297</b>

(注)1.「その他有価証券」の評価方法は時価法を採用しております。「その他有価証券」については、時価評価に換算した上で貸借対照表価額としておりますので、評価損益は取得原価と貸借対照表価額の差額を計上しております。

2.本表に掲げる取得原価は、償却原価から減損処理額(該当額が発生した場合)を控除した後の残高を計上しております。

# 平成18年9月期 仮決算状況

## 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部				負債及び組合員勘定の部			
科 目	平成18年9月	平成17年9月	平成18年3月	科 目	平成18年9月	平成17年9月	平成18年3月
現金	6,253,281	7,048,630	6,255,115	預金積金	446,727,942	433,911,913	435,708,844
預け金	112,454,032	113,480,617	103,236,362	借入金	1,540,000	1,540,000	1,540,000
有価証券	46,994,044	35,180,891	45,381,968	その他負債	3,143,948	1,359,049	1,477,744
貸出金	287,645,948	287,492,361	284,907,951	退職給付引当金	1,210,643	1,131,262	1,171,987
その他資産	2,686,857	2,531,581	2,678,802	役員退職慰労引当金	172,647	258,675	272,299
動産不動産	12,111,514	12,388,370	12,161,369	再評価に係る繰延税金負債	160,664	160,664	160,664
繰延税金資産	1,417,860	1,925,364	1,498,856	債務保証	2,572,714	3,022,217	2,814,104
債務保証見返	2,572,714	3,022,217	2,814,104	負債計	455,528,560	441,383,782	443,145,645
貸倒引当金	▲1,154,273	▲8,126,737	▲1,100,494	組合員勘定	15,453,420	13,559,515	14,688,391
(うち個別貸倒引当金)	(▲886,286)	(▲7,868,425)	(▲859,821)	うち普通出資金	7,459,112	7,104,631	7,185,527
				うち優先出資金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				うち資本剰余金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				うち利益剰余金	4,851,820	3,589,507	4,154,176
				(当期純利益)	(900,059)	(578,519)	(1,143,188)
合計	470,981,981	454,943,298	457,834,036	合計	470,981,981	454,943,298	457,834,036

(注) 部分償却は平成18年3月期より実施しており、その額は平成18年3月期5,553百万円、平成18年9月期5,612百万円であります。

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成18年9月	平成17年9月	平成18年3月	科 目	平成18年9月	平成17年9月	平成18年3月
経常収益	5,585,214	5,393,876	10,851,932	役員取引等費用	171,329	189,031	372,917
資金運用収益	5,209,610	4,735,019	9,687,850	その他業務費用	71	▲87,140	22,561
貸出金利息	4,640,350	4,312,680	8,740,002	経費	3,905,050	3,733,320	7,846,288
預け金利息	380,354	239,580	578,933	その他経常費用	116,397	513,802	514,240
有価証券利息配当金	122,144	115,999	302,152	経常利益	1,082,656	810,558	1,632,935
その他の受入利息	66,760	66,760	66,762	特別利益	3,948	55,467	116,946
役員取引等収益	217,090	228,835	460,152	特別損失	1,561	9,247	112,226
その他業務収益	23,030	411,292	646,630	税引前当期純利益	1,085,043	856,778	1,637,655
国債等債券売却益	11,560	401,582	577,709	法人税・住民税及び事業税	10,000	10,000	20,000
国債等債券償還益	-	82	-	法人税等調整額	174,984	268,259	474,466
その他の業務収益	11,470	9,628	68,921	当期純利益	900,059	578,519	1,143,188
その他経常収益	135,483	18,729	57,298	前期繰越金等	474,761	387,988	387,988
経常費用	4,502,557	4,583,318	9,218,997	当期末処分剰余金	1,374,820	966,507	1,531,176
資金調達費用	309,709	234,303	462,989				
預金積金利息	293,790	218,421	431,300				
借入金利息その他	15,918	15,882	31,686				

(注1) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 9月期は前年度まで仮決算速報ベースの処理としておりましたが、平成18年9月期より、3月本決算と同様に事業報告書ベースの処理に変更しております。なお、相違点につきましては次のとおりであります。

① 事業報告書ベースの処理においては、臨時的要素の強い退職給付費用の一部と役員退職慰労引当金繰入額等は「経費」に、決算速報ベースの処理においては、「その他経常費用」に含まれております。なお、その額は17年9月期210,423千円であります。

② 事業報告書ベースの処理においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額を合計した貸倒引当金繰入額を「その他経常費用」欄に、決算速報ベースの処理においては、一般貸倒引当金繰入額を「その他業務費用」欄に、個別貸倒引当金繰入額を「その他経常費用」欄に分けて計上しております。なお、その額は17年9月期一般貸倒引当金繰入額△87,573千円、個別貸倒引当金繰入額300,717千円であります。

(注3) 17年9月期の「その他業務費用」は(注2)の記載理由により、一般貸倒引当金が87,573千円の取崩超のためマイナス表示となっております。



# 地域密着型金融推進計画の進捗状況(平成17年4月~18年9月)

当組合は、これまで一貫して「協同組織による地域金融機関として、地域に密着し地域社会に貢献すること」を経営理念とし、組合員、お取引先の皆様との「心・ふれあい」の信頼関係を大切にして、中小企業金融の円滑化と地域経済の活性化に貢献する存在意義ある信用組合を目指してまいりました。

この理念のもと、平成17年度からは「地域密着型金融推進計画」に掲げた目標の実現に向け、地域の利用者の利便性と満足度向上を軸とする諸施策の実現に向け計画的取組みを進めておりますが、18年度を初年度とする「新輝く未来計画-3か年計画」においても「地域社会・お取引先との共存共栄」を目標に、リスク管理の強化と人材の育成ならびにコンプライアンスの徹底を図ることにより、地域のお客様への良質な金融サービスの提供ができる態勢づくりを実践しております。平成18年度上期までの計画に対する進捗状況は、概ね順調に推移しておりますが、主な個別の取組状況につきましては、ホームページをご覧ください。

## 1. 事業再生・中小企業金融の円滑化について

創業・新規事業支援については、外部機関との連携等により、39件、387百万円の実績となり、事業再生に向けた取組みについても、お取引先のご理解の下、外部機関との連携とコンサルタント等専門家とのネットワークの活用により、5先の事業再生事案を具体化いたしました。要注意先債権等の健全化に向けた取組みについては、20先のランクアップの成果を得ることができました。

また、経営相談・支援機能の充実については、お取引先向けに講演会、研修会等を開催し、情報提供とビジネスマッチングの機会創設を行いました。ビジネスマッチング成約件数は現状3件に留まっておりますが、18年9月から上部団体と連携する「都内しんくみビジネス交流会」に参画する等積極取組みを進めております。

## 2. 経営力の強化

これまで、経営管理力の一層のレベルアップに取組んでまいりましたが、リスク管理面におきましては、3つのリスク管理部会(信用、市場、事務・システム)を統合し「総合リスク管理部会」として、その態勢を再編のうえスリム化し実効性を高めるよう努めております。

経営方針の徹底と経営目標に対する本支店一体の組織的取組を図るため、平成17年度から導入した役付役員の店舗全体会議への出席定例化等による職員の意識醸成を図るとともに、お取引先のご相談等への適切な対応をサポートする「法務相談窓口」とコンプライアンス態勢強化のため内部通報制度(ヘルプライン)を創設いたしました。

## 3. 地域の利用者の利便性向上

ホームページをお客様が分かりやすい形にリニューアルし、地域貢献活動&トピックス、顧客満足度調査結果、都内中小企業景況調査結果、特別商品の紹介等を追加いたしました。「顧客満足度調査」は、18年1月に第1回目を実施し、その結果を営業店にフィードバックし、店舗ごとに問題点の把握と改善策を講じております。また、各店舗に「ご意見箱」を設置し、広くお客様からのご要望・ご意見等がお伺いできる環境を整備しました。

おかげさまで、掲げた数値目標の達成に向けて順調に推移しています。

数値目標と実績				
項目	自己資本比率	不良債権比率	業務純益	組合員数
平成17年度実績	6.64%	4.55%	2,612百万円	86,063人
平成18年度目標	7%以上	4.5%未満	2,760百万円	86,300人
平成18年9月度実績	6.98%	3.96%	1,286百万円	87,439人

※不良債権比率は、金融再生法に基づく開示債権の比率です。

## 事業再生・中小企業の円滑化等に関する取組み実績

事業再生向け商品の実績について	
取組み内容等	実績
事業再生向け商品を中心に、事業再生目的融資に取組んでいます。	○平成18年度取組実績/7件:1,060百万円 ○実績累計/150件:21,043百万円

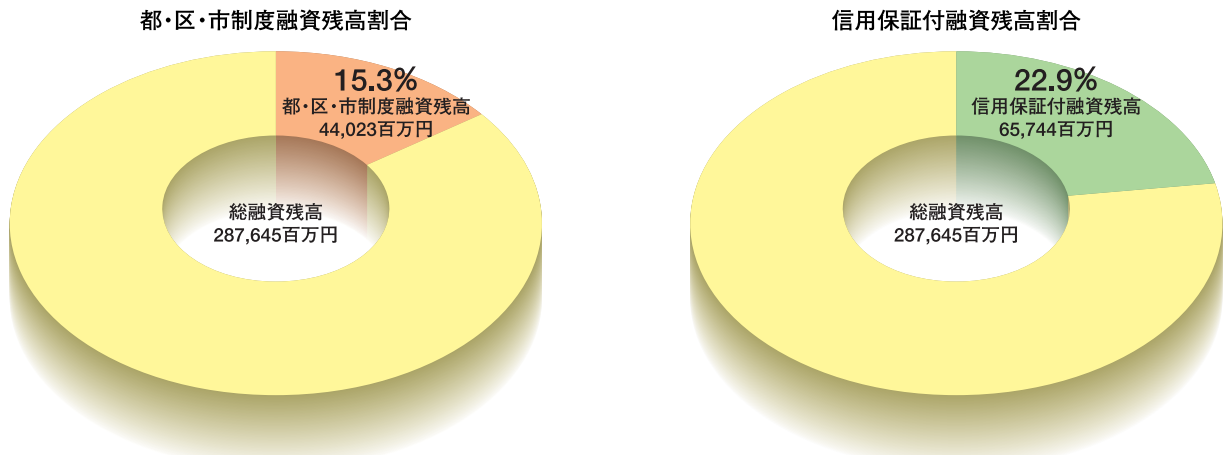
  

経営改善による債務者区分のランクアップ実績について	
取組み内容等	実績
要注意先債権等の健全化に向けて、取組みました。	○平成18年度ランクアップ実績/5先 ○累計実績/20先

# 大信の地域貢献活動&トピックス

## 制度融資や信用保証付融資を通じた地元中小企業への支援と地域活性化に貢献

大信は地域のお取引先の資金ニーズにお応えするため、都・区・市の中小企業向け制度融資と東京信用保証協会の保証付融資を積極的に取り組んでおります。平成18年9月末現在の都・区・市制度融資残高は44,023百万円で、総融資残高287,645百万円に占める割合は15.3%となっています。また、信用保証付融資残高は65,744百万円で総融資残高に占める割合は22.9%に達しており、都内信用組合のトップの実績を誇っています。



## (財) あすなる会に対し44年間にわたり賛助活動を継続

大信は、昭和37年に大信創立10周年の記念事業として、「勤労青少年の育成と社会福祉向上」を目的に財団法人あすなる会を設立しました。以来大信は社会・地域貢献活動の重要な柱と位置づけ、(財)あすなる会の活動に対して基金、寄付金などを拠出、会事務所の提供、職員の派遣など、物心両面にわたり44年間支援を継続しております。

(財)あすなる会の活動は、英会話教室、茶道教室等の教養教室の他、ハイキング、祝成人・新年のつどい、あすなる祭等のイベント、さらに賛助会員の方々を対象とした中小企業経営環境研究会、あすなる会と共催の合同時局講演会等多岐にわたり活発に行われております。これらの活動基盤は大信と大信39店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。

平成18年9月24日 (社)日勤協主催「若ものを考えるつどい 2006」に協力参加



書道の部 社会経済生産性本部会長賞を受賞した  
小山 博史さん



日本勤労青少年団体協議会会長賞を受賞した  
絵画の部の新保大介さん



作文の部の福地砂織さん

平成18年9月10日 あすなる祭



来賓・役員と会員の記念撮影

平成18年7月11日～12日 賛助会員を対象とした「第76回中小企業経営環境研究会」



ご講演の中島嶺雄先生



ご講演の福岡政行先生

## 経営情報・地域情報を永年にわたり提供

### ■都内中小企業景況調査結果を 25年間に亘り経営情報として提供

大信は、各店舗のお取引先のご協力を得て昭和56年から25年に亘り毎年5月と11月の2回（通算50回）都内中小企業の景況調査を実施し、その結果を小冊子にまとめ経営参考資料として提供しております。調査対象先は従業員50人未満の企業を中心に、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種835社に達し、大信職員による聞き取り方式で実施しております。調査結果は都内23区と多摩地区に分け地域性を反映する形としております。



### ■「大信ふれあいニュース フロイデ」を 発行し地域情報として提供

「大信ふれあいニュース フロイデ」は、地域やお客様のご紹介・PRなど身近な情報紙として年2回(7月・11月)発行しており、昭和29年創刊発行以来現在168号を数えます。一・二面は大信39店舗の近隣商店街の歴史やイベント、案内図などをシリーズで紹介・PRするコーナー、三・四面は「あなたのご近所から」「ふれあい伝言板」と題するコーナーで、地域の行事や地元の名店のご紹介など地域情報を提供しております。



## 講演会等の開催により積極的にお取引先との紐帯強化

### ■「しん研」第7回講演会 「企業成長の原理原則」が大好評

多摩地域の事業経営者を中心として活発な活動を続けている「だいしん経営研究会（略称しん研）」は、平成18年6月14日（水）八王子営業部大ホールにおいて第7回講演会を開催しました。当日は(株)タナベ経営の福田季三志先生から企業成長シリーズの第二段として「企業成長の原理原則」と題するご講演をいただきました。経営戦略の考え方などを熱心に聴講された会員の方々から大好評を得ました。引き続き別館「ふれあいホール」にて懇親会が開催され、和やかに会員同士の親交が深められました。



ご講演をされる福田季三志先生

### ■第25回大信すえひろ観劇会 「京紅ものがたり」が大好評

平成18年7月19日第25回大信すえひろ観劇会が新橋演舞場（昼の部貸切）で開催され、1,400名を超えるお客様が十朱幸代主演「京紅ものがたり」を楽しまれました。男女の機微を描いた水上勉の傑作を十朱幸代、高橋恵子が華やかに美しく演じ、満員のお客様も充分堪能されました。また、幕間の「おたのしみ抽選会」では50名様に「特別すえひろ賞」が贈呈され、笑い声の絶えない大変楽しい会となりました。終演後、高円寺支店のお取引先・西脇秀次様から十朱幸代さんに花束贈呈が行われ、十朱さんのお礼の挨拶で更に盛り上がりました。大信すえひろ観劇会は、年金の受取を大信にご指定いただいているお客様の会場で、年2～3回定例実施しております。



花束を贈呈する西脇秀次様

## 各店舗は地元に着した「心・ふれあい」の地域貢献活動を積極的に展開

### 亀戸支店

平成18年7月25日支店会議室においてお取引先の組織「亀友会」が80名の会員の参加を得て講演会を開催しました。



### 大森支店

平成18年8月3日大森町共栄会商店街恒例のサマーフェスティバルが開催され、様々なイベントに職員全員が協力参加しました。



### 駒沢支店

平成18年8月3日・4日地元駒沢の納涼盆踊り大会が駒沢緑泉公園で盛大に行われ、支店長以下全職員が参加しました。



### 新宿支店

春・秋の全国交通安全運動期間中、四谷警察署・交通安全協会・地元町会と共に交通安全の大切さをPRしています。



### 高円寺支店

昭和43年以来毎年8月地元氷川神社例大祭に支店長以下男子職員が高円寺南中央町会の一員として神輿担ぎに参加しております。



### 戸越支店

広く地域の方々に支店ロビーの掲示板を開放し、絵手紙や写真、切り絵など趣味の会やサークルの作品展を開催しております。



### 蒲田支店

平成18年8月5日・6日蒲田八幡神社例大祭に蒲田四丁目町会一員として支店長以下職員が協力参加しました。



### 富士見台支店

平成18年9月9日富士見台本町通り商店街主催の第9回「花笠踊り」に全職員が参加し音楽に合せ商店街を練り歩きました。



### 品川支店

毎週朝3回(月・水・金)に当店前道路(旧東海道)、裏通り(元なごさ通り)他周辺の清掃活動を融資渉外課職員が行っております。



### 押上支店

平成18年9月16日・17日に地元天祖神社祭礼に神輿の担ぎ手や露店の手伝いに支店長以下男子職員が参加しました。



### 目黒支店

目黒区社会福祉協議会の地域福祉活動に協賛し、使用切手・カード類の収集箱を窓口に設置してボランティア事業に協力しております。



### 吉祥寺支店

平成18年9月10日恒例の「吉祥寺秋祭り」に、地元町会の一員として支店長以下男子職員が神輿の担ぎ手として参加しました。



## 盗難・偽造キャッシュカードや銀行名を騙り送付されてくるCD-ROM等にご注意を!

最近盗難・偽造キャッシュカードにより預金が引き出される事件が全国で多発しています。

生年月日・電話番号や住所の番地など類推されやすい暗証番号を

使用されているお客様はすみやかに変更してください。

暗証番号変更はお客様がATM等で簡単に変更できます。

また、金融機関名を騙り送付されてくるCD-ROM等でご不審な点は下記のインターネットモバイルバンキング専用電話にお問い合わせください。

☎03-3436-7373 (受付時間/9:00~17:30)